

---

みんなに手を振りながら会見室を離れた。

福田首相が特別機に乗って中国訪問に出発する2時間前に我々と懇談したことは、首相の日中関係を重視する姿勢を示すと同時に、我々華人教授会議の日本社会におけるプレゼンスや日中間の意思疎通・相互理解に果たした地道な努力への評価でもある、と私たちは受けとめた。

華人教授会議は、10月ごろから福田首相宛での、日中関係促進に関する提案書を準備しようと考え、メンバーにアイデアを公募した。

多数の会員から貴重な意見と提案が寄せられ、上記の提案書を五つの部分、15項目にまとめたが、多くの内容を割愛せざるを得ず、外務省などの関係省庁に別途手渡すこととなった。懇談に参加した12名はほとんどが提案文の執筆者で、全会員の代表として出席したが、これまでもほかのメンバーは科学技術担当大臣や経産大臣を訪問し、所見と提案を出させていただいた。今後、私たちは日中両国首脳や各レベルの交流のために引き続き、知恵と知識の面で貢献していく所存である。

